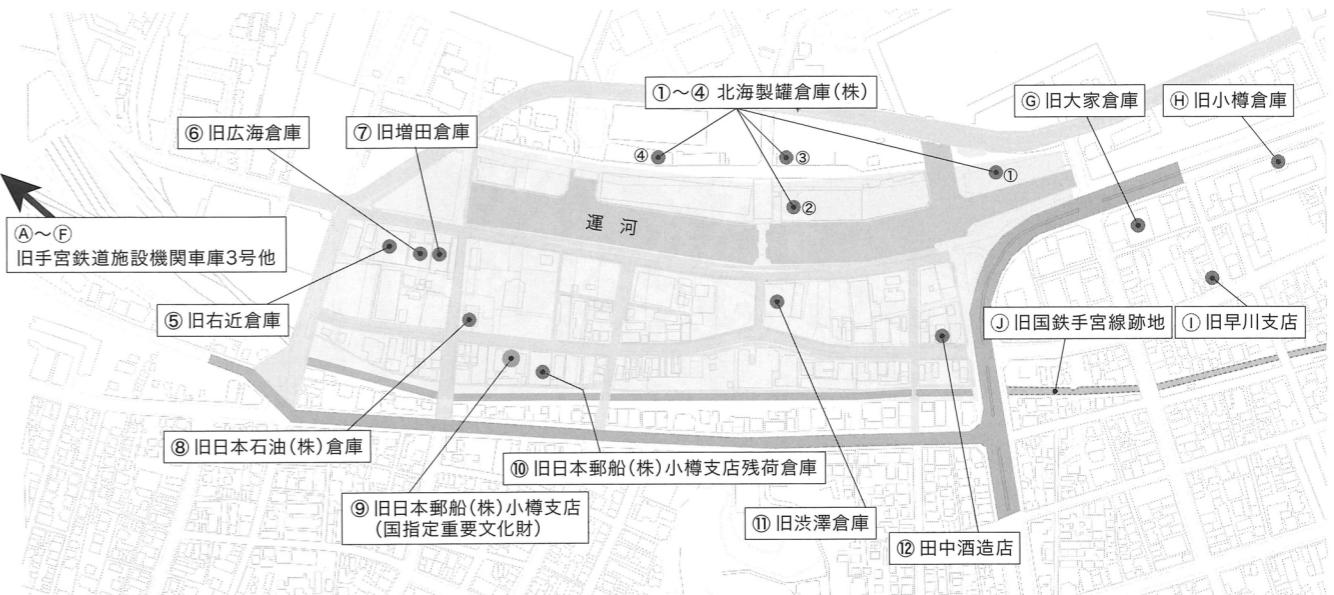


## 北運河を周遊中の運河クルーズ

が大切なキーワードとなつてくる  
と考えます。

## 北運河・周辺を市町が 楽しめる文化芸術HAPPY

が大切なキーワードとなつてくる二考二三一。



北運河地区的歴史的建造物

図中番号	現在の名称	建築時名称	建築年	
①	北海製罐(株)第3倉庫	北海製罐倉庫(株)第3倉庫	大正13年	市指定歴史的建造物
②	北海製罐(株)工場	北海製罐倉庫(株)工場	昭和6年	市指定歴史的建造物
③	北海製罐(株)事務所棟	北海製罐倉庫(株)事務所棟	昭和10年	市指定歴史的建造物
④	北海製罐(株)旧第2倉庫	北海製罐倉庫(株)第2倉庫	大正11年	市指定歴史的建造物
⑤	旧右近倉庫	右近倉庫	明治27年	市指定歴史的建造物
⑥	旧広海倉庫	広海倉庫	明治22年	市指定歴史的建造物
⑦	旧増田倉庫	増田倉庫	明治36年	市指定歴史的建造物
⑧	旧日本石油(株)倉庫	日本石油(株)倉庫	大正9年	市指定歴史的建造物
⑨	旧日本郵船(株)小樽支店	日本郵船(株)小樽支店	明治39年	国指定重要文化財
⑩	小樽ナトリ	日本郵船(株)小樽支店残荷倉庫	明治39年	市指定歴史的建造物
⑪	小樽ゴールドストーン	渋澤倉庫	明治28年	市指定歴史的建造物
⑫	田中酒造店	田中酒造店	昭和2年	市指定歴史的建造物

## 北運河地区周辺の歴史的建造物

図中番号	現在の名称	建築時名称	建築年	
Ⓐ	旧手宮鉄道施設機関車庫3号	煉化石機関車室	明治18年	国指定重要文化財
Ⓑ	旧手宮鉄道施設転車台	転車台	大正8年	国指定重要文化財
Ⓒ	旧手宮鉄道施設機関車庫1号	機関車庫	明治41年	国指定重要文化財
Ⓓ	旧手宮鉄道施設貯水槽	貯水槽	明治末期から大正初期頃	国指定重要文化財
Ⓔ	旧手宮鉄道施設危険品庫	危険品庫	明治31年頃	国指定重要文化財
Ⓕ	旧手宮鉄道施設擁壁	擁壁	明治45年	国指定重要文化財
Ⓖ	旧大家倉庫	大家倉庫	明治24年	市指定歴史的建造物
Ⓗ	小樽市総合博物館運河館など	小樽倉庫	明治23-27年	市指定歴史的建造物
Ⓘ	Vivre sa vie +mi-yuu	早川支店	明治38年	市指定歴史的建造物
Ⓛ	旧国鉄手宮線跡地	手宮線	明治13年	近代化産業遺産

(図と表：「北運河および周辺地域観光戦略プラン」より抜粋)

**大切なのは  
「守つて残す、使つて稼ぐ」**

こうした歴史的遺産をこの先もずっと残していくためにはどうしたら良いのでしょうか。

平成29（2017）年4月現在、市内には79件の小樽市指定歴史的建造物がありますが、その多くは民間所有です。古い建物の維持には、安全対策や補修など多額の維持費がかかり、将来的には維持できず、やむなく解体されてしまう可能性が危惧されます。

あちやくりは  
「自分たち」と=共通課題

課題

ベントが行わされており、市民や観光客の憩いと賑わいづくりを行う文化芸術拠点として相応しい場所であるといえます。

まちづくりは、そのまちに住む人だけではなく、まちに関わる人

小樽の原風景の魅力をきっと実感できると思います。



## 北運河に架かる北浜橋と人力車

【参考文献】

『写真集 小樽築港100年のあゆみ』  
 (北海道開発局小樽開建設部小樽港湾建設事務所 1997年)

『五箇鉄十両縦張用壁画』  
 (小樽市 1910年)

<https://www.city.otarulg.jp/simin/sunmai/machidukuri/temiyasan/keikaku.html>

『北灘区ねむる周辺地域観光戦略』(n.h.)  
 (ZAO老人の会 2004年)

<https://www.city.otarulg.jp/kankou/torikumi/kitaunga/>